

「上板橋駅南口駅前東地区市街地再開発事業」 再開発組合設立のお知らせ

駅前広場や区画街路等の整備と合わせ、3棟・総延べ5万㎡の再開発ビルを建設

上板橋駅南口駅前東地区市街地再開発組合(理事長:片桐 正隆)は、東京都板橋区上板橋一丁目及び二丁目で事業推進する「上板橋駅南口駅前東地区市街地再開発事業」について、2021年3月26日付で東京都知事より市街地再開発組合の設立認可を受け、4月18日に再開発組合を設立いたしましたので、お知らせいたします。

本地区は、東武東上線上板橋駅の南側に隣接する約1.7haの地区であり、地区の南端には、川越方面と東京都心部とを結ぶ川越街道が位置しています。地区内及び周辺地域は、狭隘な道路が多く、木造住宅や店舗併用住宅などが密集しており、消防活動困難区域の解消や木造密集地域の改善が課題となっています。さらに、駅前への取付け道路が未整備であり、防災面や安全面の向上が望まれる地区です。

本事業は、地区の利便性と防災性・安全性の向上に寄与する区画街路・駅前広場等の公共施設を整備とともに、商業・業務機能の強化による賑わいの形成や良質な住宅供給(約440戸)を行い、駅前に相応しい土地の高度利用と都市機能の更新を図ることを目的としています。なお、事業協力者として大成建設株式会社が参画しておりますが、この度の市街地再開発組合設立を受けて、住友不動産株式会社が参加組合員として参画いたします。

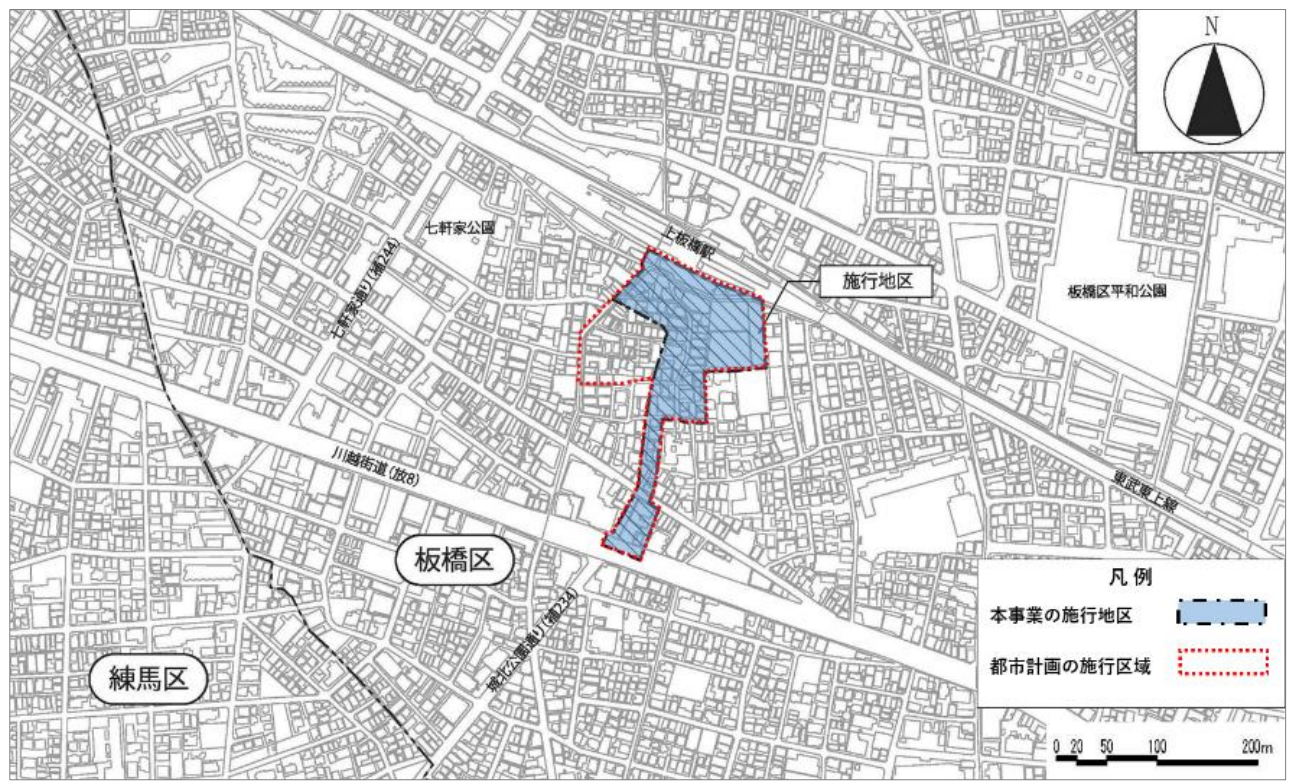


外観完成イメージ

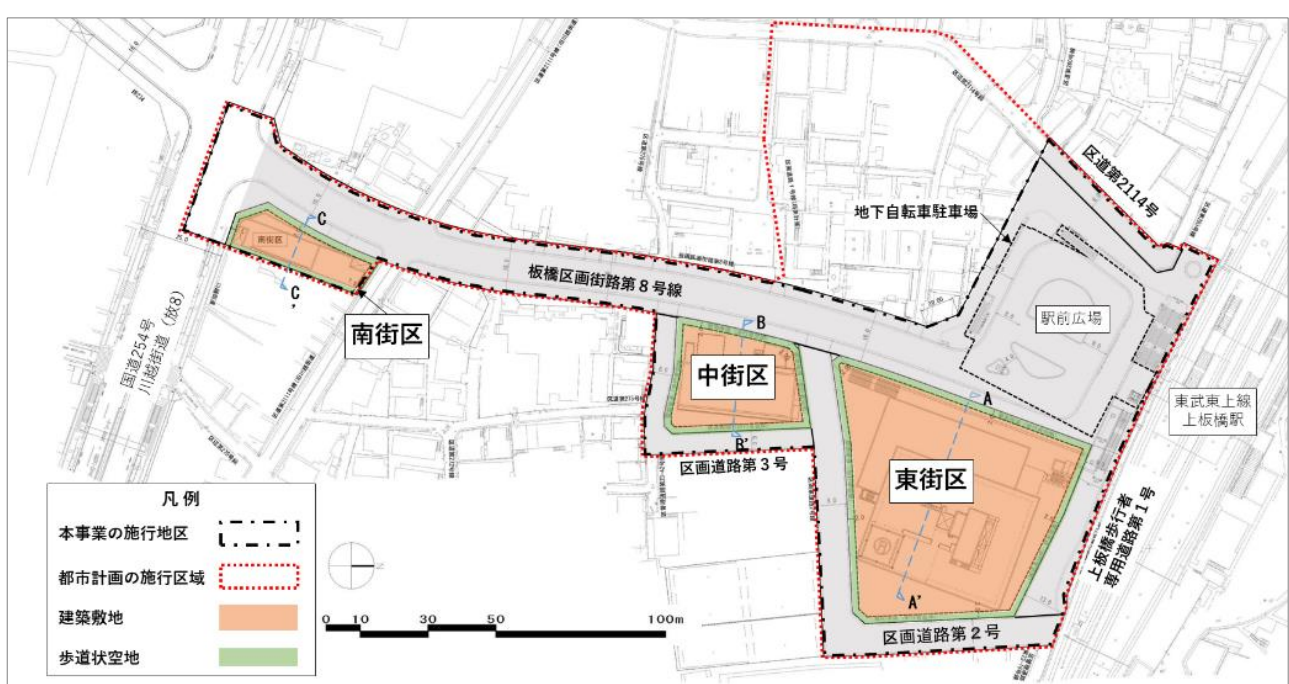
■ 事業の特徴

再開発事業では、ビル3棟(総延べ5万㎡)の建設や駅前広場(約3,900㎡)、駅前広場の地下には約1,500台収容の公共自転車駐車場を整備いたします。上板橋駅前と川越街道を結ぶ延長210m(幅員16m)の区画街路等を新設するとともに、多様な居住ニーズに対応する居住機能として約440戸(1～3LDK)を整備致します。駅前広場に面する東街区の低層部(1,3階)には南口の顔となる商業施設を配置、賑わいを強化してまいります。なお、公共施設整備等を含む総事業費は、約400億円を見込んでいます。

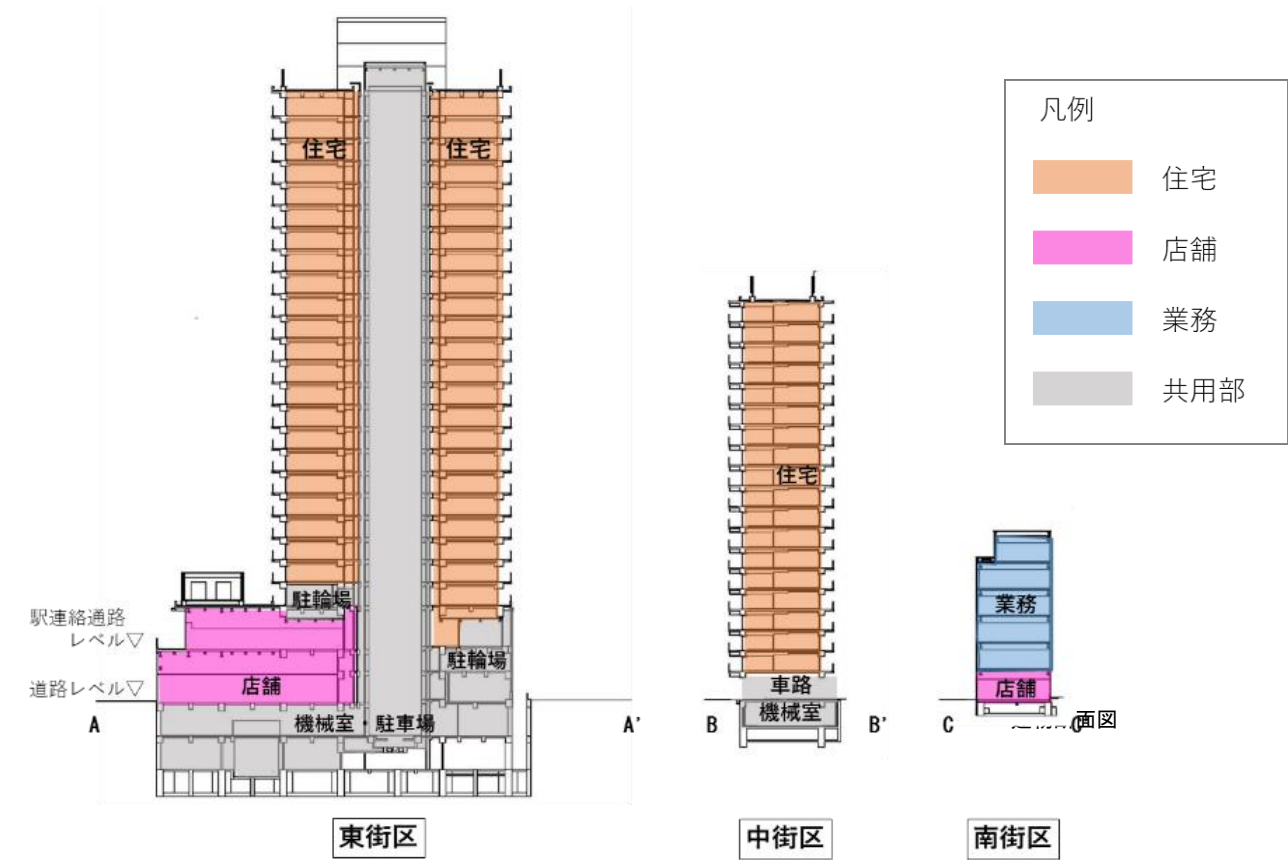
<位置図>



<配置図>



<位置図>



		東街区	中街区	南街区
施設規模	延べ面積	約38,550㎡	約10,040㎡	約1,890㎡
	階数・高さ	地上27階/地下2階	地上19階/地下1階	地上6階
施設用途		住宅・店舗	住宅・店舗	事務所・店舗
公共施設等		板橋区画街路第8号線（幅員16m・交通広場約3,900㎡）、 区画道路第2号（幅員9m）、区画道路第3号（幅員6m）、 区道第2114号線（幅員6m）、上板橋歩行者専用道路第1号（幅員9~13m）、 上板橋駅南口自転車駐車場（面積約2,600㎡、約1,500台収容）		
総事業費		約400億円		

■これまでの経緯と今後のスケジュール

1995年	再開発準備組合設立
2004年	都市計画決定
2021年 4月	上板橋駅南口駅前東地区市街地再開発組合 設立
2028年 12月	全体竣工（予定）

- (1) 事業施行期間（予定）2021年4月～2031年3月末日
- (2) 建築工事期間（予定）着工 2025年4月 竣工 2028年12月
- (3) 公共施設工事期間（予定）着工 2023年4月 竣工 2028年12月